

# ユニオンファンド 月次レポート

第 135 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2020年2月6日作成

## MONTHLY TOPIC

### 未知のモノへの恐怖がもたらす市場の混乱

新型コロナウイルスによる肺炎が猛威を振るっています。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りします。また、医療関係など救命や治療に当たっておられる多くの皆様に敬意を表します。

株式市場は1月末から今月初めにかけて混乱に見舞われました。中国国内はもとより国外でも感染者が急増していることから、世界の景気に大きな悪影響がもたらされるのではないかと投資家は疑心暗鬼にかられています。感染拡大を防ぐための人の移動の制限措置などにより、経済活動は鈍っている可能性が大きいです。

潜伏期間が長いこと（つまり発症前の人からウイルスを拡散する可能性が高いこと）や、人から人への感染が広がりつつあることなどもあって、今後もしばらくは患者や死者の数が増加し続けることでしょう。一部には治療に成功した投薬の例もありますが、本格的な治療薬の開発には今少し時間がかかりそうです。

#### ピークアウトとはとても言えないが、鈍化の兆しも

まだ断定的なことは言えませんが、感染者数などの推移を見る限り、鈍化の兆しも見えてきたように思います。

- ・まず感染者数（以下 WHO による 2 月 4 日発表分まで）ですが、足元は前日比+2,000 人台後半から+3,000 人台前半。率で見ますと、発生当初こそ前日比 5 割増のピッチでしたが、直近は+20%を若干下回ってきました。
- ・感染者に対する死者の割合（ともに累計）は、1 月 24 日の 3.1%をピークに低下しており、直近は 2.1%。驚異的に致死率が高い病気とは言えません。
- ・中国以外の感染者数の割合（累計）を見ますと、最も高かった 1 月 23 日が 1.9%でしたが、その後 1%前後で推移し、直近は 0.8%です。中国以外への感染の広がりがある程度抑えられていることを窺わせます。

#### 米国ではインフルエンザで毎年多数の死者

最近驚いたのは、米国でのインフルエンザによる死者が多いことです。米国疾病対策センター（CDC）によれば、2017-18 年のシーズンには、インフルエンザにからむ死者が 6 万 1,000 人に達し、その他のシーズンでも概ね 1 万 2,000 人ほどが亡くなっていると言います。ここ数年、こうした状況が繰り返されているのです。病気になったり亡くなったりした方は本当にお気の毒ですが、それで米国経済が危機に陥ったという話は聞きません。

なぜこれほど新型コロナウイルスが恐れられるかと言えば、未知のモノだからでしょう。未知のモノを怖がるのは、人間というか生き物の常（本能）なので仕方ありません。これからどう推移するかもわかりませんし、油断は禁物であり、個人ベースでは引き続き十分な注意が必要です。しかし、今回の新型ウイルスとそれによる病気が世界経済に重大な影響をもたらすというのは、あくまでも私個人の考えですが、やはり怖がり過ぎに思えます。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2020年1月末現在)

## 基準価額

24,991円

## 純資産総額

74億10百万円

## 期間別騰落率(%)

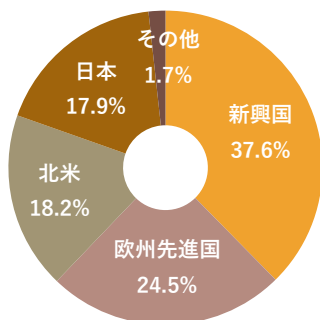
1ヶ月	-1.31%
1年	11.36%
3年	11.92%
5年	17.32%
10年	95.06%
設定来	149.91%

## 複利年率(%)

8.45%

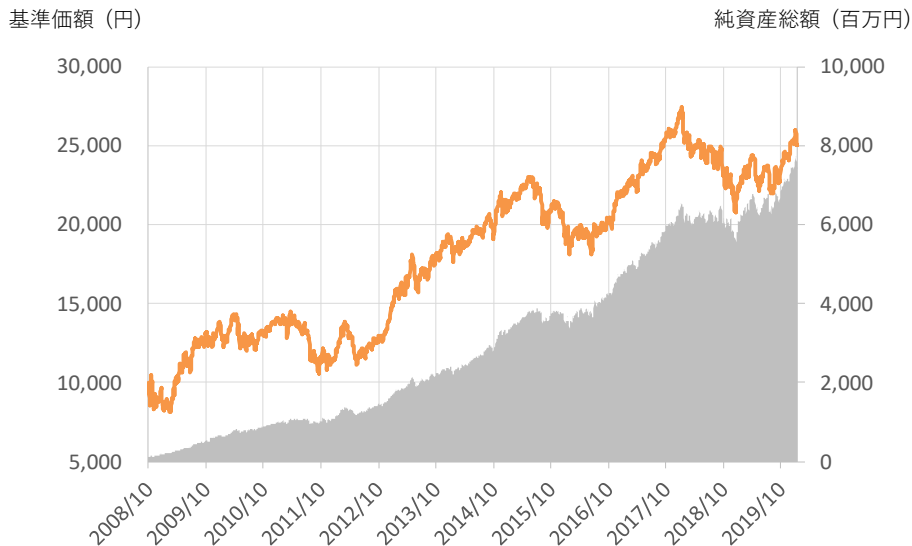
\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2019年12月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみF	日本	5.7%	-4.0%
スパークスF	日本	8.7%	-3.6%
キャピタルF	欧米	13.9%	-0.6%
ハリスF	欧米	17.7%	-3.9%
コムジェスト・ヨーロッパF	欧州	7.6%	1.3%
コムジェスト・エマージングF	新興国	33.4%	0.0%
現金等	-	13.0%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2020年1月の市場動向と運用状況

## 投資環境と基準価額の推移

2020年の新春相場は、米国によるイラン革命防衛隊司令官の殺害というショッキングな事件で幕を開けました。報復合戦から全面対立への発展も警戒されましたが、イランからの攻撃は限定的で、それに対する米軍の反撃もなかったことから、市場に与えた影響は一時的なもので済みました。

その後は、米中間で部分的ながらも貿易協議が合意に達したことや、米国と欧州をはじめ世界の中央銀行が緩和的なスタンスを維持していること、企業業績の改善期待が高まっていることなどから、株価は堅調に上昇しました。

ただ、下旬に入りますと、中国で新型コロナウイルスによる肺炎が拡大し、市場のムードは一変しました。新興国を中心に多くの市場が今月前半の上昇分を帳消しにしました。

為替市場では、月末にかけて新型肺炎を警戒して円を買う動きがやや活発化する一方、新興国通貨が弱含みとなりましたが、総じて落ち着いた動きでした。

ユニオンファンドの基準価額は一時 26,000 円に迫りましたが、月末に向けて世界的に株価が大きく反落すると値下がり転じ、前年末の水準を若干下回って終わりました。

## 運用の状況

買付は見送りました。月末の組入比率は前月末から若干低下し 87.0%でした。

## 今後の見通しと運用方針

新型ということもあって、今回のウイルス感染が今後どの程度広がるのか、予想は大変難しいところがあります。ただ、地域別にはともかく世界の経済全体という観点で言えば、解決に多少時間がかかるにしても、長期的かつ壊滅的な打撃もたらされることにはならないと見ています。

今回の株価下落の直接の引き金を引いたのは確かに新型コロナウイルスですが、根底にあるのは、昨年8月後半から株価がほぼ一本調子に上昇してきたことです。前月号でもお伝えしましたが、米国を中心に株式市場には楽観論が広がり、少し休養すべきタイミングに差し掛かっていたところに、誰の目にも明らかなマイナス材料が飛び込んできたためとありあえず売っておこうという動きが広がったものと思われます。

とはいうものの、当面の株価については楽観的になり過ぎるのも避けるべきだと考えています。金価格が上がる一方で、景気の先行き懸念から原油や銅などの商品価格や海運市況は低迷しており、金利は米国だけでなく欧州などでも大きく低下しています。株式市場だけが今後の景気回復を織り込んできたと言ってもいい状況です。新型肺炎に限らず、そもそも株価の大底を当てることは至難の業ですから、株価が弱含んだところを中心に、数回に分けて買い増しを検討していく考えです。

運用責任者 久保田徹郎

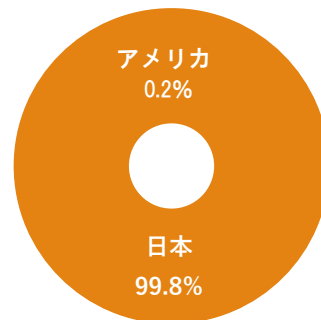
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



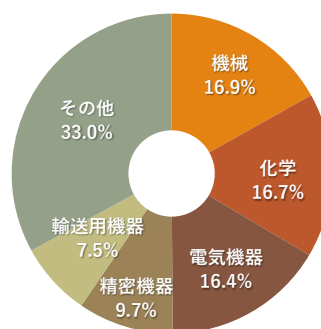
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	4.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 花王	4.4%	日本	化学	トイレットペーパー首位
3 ダイキン工業	4.2%	日本	機械	エアコン世界首位
4 テルモ	3.9%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
5 プリチストン	3.9%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
6 信越化学工業	3.6%	日本	化学	塩ビ・シリコンエポキシ世界大手
7 浜松ホトニクス	3.5%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
8 TOTO	3.0%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 トヨタ自動車	2.9%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
10 国際石油開発帝石	2.5%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
<b>上位10銘柄</b>	<b>36.6%</b>		<b>現金等</b>	<b>6.8%</b>

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年1月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



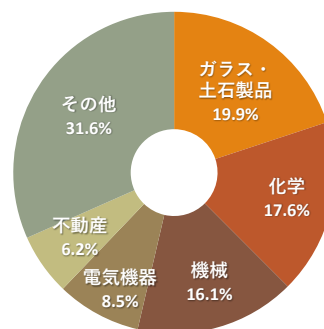
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレイなど容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
<b>現金等</b>			<b>現金等</b>	<b>5.1%</b>

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2019年12月末現在 >

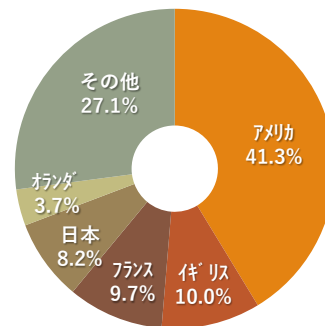
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



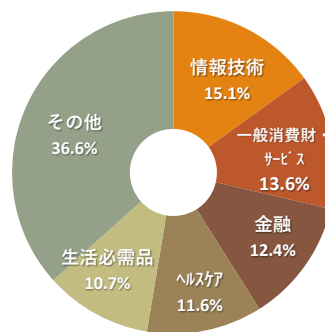
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Enel	2.1%	イタリア	公益	国内最大の電力会社
2 ASML	1.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Alphabet	1.9%	アメリカ	コミュニケーションサービス	グーグルの持ち株会社
4 Ocado	1.7%	イギリス	一般消費財・サービス	世界最大級のオンライン・スーパー
5 Microsoft	1.7%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
6 Airbus	1.6%	フランス	資本財・サービス	世界有数の航空機メーカー
7 AIA	1.5%	香港	金融	生保・金融サービス
8 Pernod Ricard	1.5%	フランス	生活必需品	アルコール飲料、食品
9 Visa	1.5%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
10 Seattle Genetics	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	癌治療薬等の研究開発
上位10銘柄	16.9%	現金等	5.1%	

業種別構成比



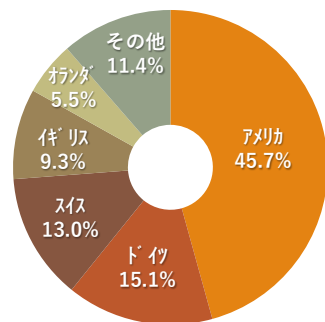
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年12月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



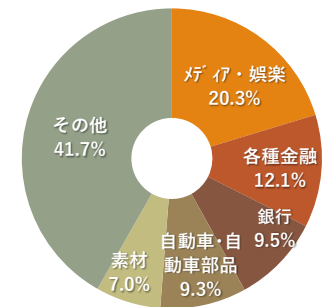
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 GLENCORE	5.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
2 BNP PARIBAS	4.7%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 DAIMLER	4.6%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
4 CREDIT SUISSE	4.6%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
5 CNH INDUSTRIAL	4.5%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
6 ALPHABET	4.3%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持ち株会社
7 BAYER	3.9%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
8 HILTON WORLDWIDE	3.7%	アメリカ	消費者サービス	世界有数のホテルチェーン
9 JULIUS BAER	3.6%	スイス	各種金融	プライベートバンク
10 BOOKING HD	3.2%	アメリカ	小売	旅行等オンライン予約サービス大手
上位10銘柄	42.1%	現金等	2.4%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年12月末現在>

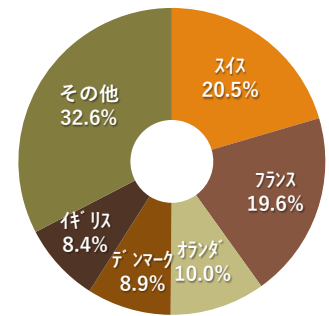
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



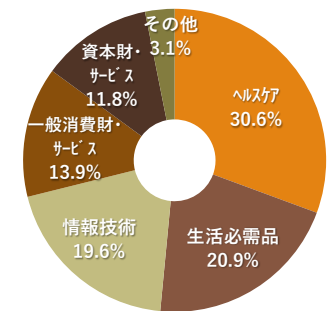
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ROCHE HD	5.1%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
2 HEINEKEN	4.6%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
3 NOVO NORDISK	4.5%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
4 ASML HD	4.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
5 ESSILORLUXOTTICA	4.2%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
6 STRAUMANN HD	3.8%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
7 INDITEX	3.8%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
8 AMADEUS	3.3%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
9 LINDT & SPRUENGLI	3.2%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
10 SAP	3.2%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
上位10銘柄	39.8%		現金等	5.8%

業種別構成比(マザーファンド)



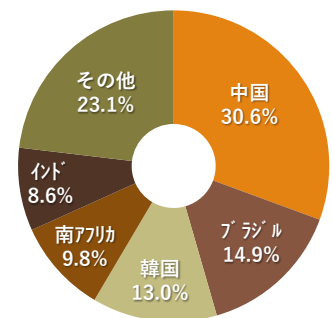
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年1月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



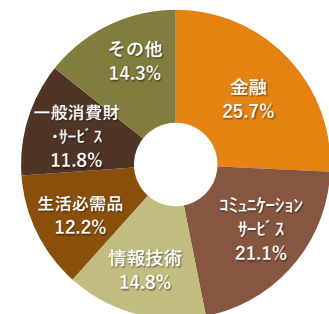
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	6.7%	中国	金融	保険大手
2 NETEASE ADR	4.7%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
3 SAMSUNG ELECTRONICS	4.7%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 TSMC ADR	4.4%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5 BB SEGURIDADE	4.0%	ブラジル	金融	保険大手
6 NC SOFT	3.7%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
7 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.4%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
8 INNER MONGOLIA YILI	3.2%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
9 SANLAM	3.2%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
10 AIA	3.2%	香港	金融	生保・金融サービス
上位10銘柄	41.2%		現金等	2.2%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年1月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

## ご住所の変更をされるお客様へ

弊社ではお客様のご登録情報に変更がある場合、各種変更届をご提出いただいております。

ご転居等で現在の登録住所を変更される方は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話または弊社ホームページの「取引口座関連（各種変更手続き）」>「登録情報変更用紙の請求」フォームで届出用紙をご請求ください。

お届けにあたっては、**新住所が証明できるご本人確認書類をあわせてご提出ください。**

※ ご住所変更の際、個人番号（マイナンバー）もご提示いただきます。

## 【ご注意ください】

- ・ 新住所をお届けいただくまでの間、各種報告書等は旧住所への送付となります。そのためお客様の郵便事情によっては弊社からの郵便物が届かなくなる場合もございますので、変更のお手続きはお早めにお済ませください。
- ・ 法令の定めにより、新住所のお届け出がない場合、原則として、ファンドの解約代金等をお支払いすることができません。
- ・ 海外へ転勤・移住等される場合は、お客様によって手続方法が異なります。**必ず出国される前に弊社までお電話ください。**（出国後ではお手続きいただけないものもあります。）

## お客様コード（口座番号）について

「お客様コード（口座番号）」とは、弊社に口座をお持ちのお客様がお取引等いただく際に、お客様を特定させていただくための番号です。

口座開設された際に弊社より郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ **各種報告書や月次レポート郵送時の宛名の下に印字されている記号や番号は、お客様コードではありません。**

※ 「お客様コード（口座番号）」がご不明な場合には、「お客さま控え」を再発行しお送りいたしますので、ご希望の際は弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までご連絡ください。（メールやお電話ではお答えしておりません。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。



## NOTICE

## セミナーのお知らせ

## 生涯資産づくりセミナーin 大阪のご案内

日時	2020年4月11日(土) 14:00~17:00 (受付開始 13:30) 終了後、懇親会(～19:00)を予定しています。ご希望の方は是非ご参加ください。	
会場	「大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)」 セミナー室② 大阪市中央区大手前 1-3-49	
定員	40名(お申込み順)	
参加費用	無料(懇親会参加の方は1,500円)	
申込方法	<p>弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までお電話いただくか、弊社ホームページの「資料請求・問い合わせ」ページよりお申し込みください。(申込締切日:4月8日)</p> <p><a href="https://unionam.co.jp/contact/index.html">https://unionam.co.jp/contact/index.html</a></p> <p>≪弊社HP「資料請求・問い合わせ」ページからのお申込み方法≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①ご依頼内容「お問い合わせ」にチェックしてください。</li> <li>②お名前、ご住所、連絡先(電話番号・メールアドレス)をご入力ください。</li> <li>③お問い合わせ内容欄に「4/11 参加申込み ○名(参加人数)」をご入力ください。</li> <li>④懇親会について「懇親会 参加する・参加しない」どちらかをご入力ください。</li> </ol> <p>【懇親会の情報】</p> <p>・会費…1人1,500円(飲み放題) ・場所…セミナー会場1階 「カフェラウンジ凜」</p>	
交通	 <p style="text-align: center;"><a href="#">地図</a></p>	<p>京阪「天満橋」駅 1番出口より約350m 地下鉄谷町線「天満橋」駅 1番出口より約350m JR東西線「大阪城北詰」駅 2番出口より約550m</p>

このセミナーは、投資信託その他金融商品についての具体的な説明を行い、その取引を誘引することがあります。／金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。／金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。